

雲林寺報

第拾七号



平成26年2月3日 節分会

お盆会

～思い出の中に過ごす三日間～

お盆は亡き人々の思い出に浸りながら暮らす三日間（お盆の入り）を数えると四日間ですが、それにつけても、私達も一度は思い出される立場になるのでありますから、自分の生き方についてもよく考えるべき三日間でもあるわけです。しかし、主とするところは側にも、別れた人を思い出す。そのつもりで、泌々とした気持ちで平生はお互いに忘れがちで過ごしていても、憶えていますよ、忘れちゃいませよ、という気持ちで精霊さまを拜んでください。

**盆は嬉しや別れし人が
晴れて此世に会いにくる**

の気持ちで、はるばると、かつて住んでいたわが家になつかしい思いで帰って来る、年に一度の亡き人々の来訪をなつかしく、やさしい気持ちでお迎えし、せっかく訪ねて来た人に辛く冷たくしたり、また間違った暮らしぶりを見せて、失望させたり悲しませたりする事のないように、心からなるお給仕をして仕える日、これがお盆の心構えであり、過ごし方あります。

雲林寺住職 轟 紀久

護持会だより

第二回通常総会が開催されました

七月十七日（木）草津温泉ホテル樓井に於いて、総代世話人総数四十二名中出席者十四名、委任状提出者二十四名によって総会が開催されました。詳細は同封の「第二回通常総会開催結果のお知らせ」及び資料をご覧ください。

※北軽井沢の世話人、柳沢豊さんから恩田明さんに変更になりました。



お盆の話

お盆というのは正しくは盂蘭盆といひ、ウランバナという梵語からきたものです。それが中国に入って、「救倒懸」と訳されました。倒懸とは地獄で逆さまに吊るされている、はげしい苦しみの意味し、その苦しみを救いたすけるというのが「救倒懸」、すなわち盂蘭盆の行事です。

また、盂蘭盆の盆には、器の意味があります。百味五果と称する種々の供物を盆器に盛り上げて、これを仏様や仏の御弟子に供養して、その功德を以て衆生倒懸の苦しみを救うという意味です。お盆の因縁は、お釈迦様が御在世の時に遡り、十大弟子の中に神通第一の目連尊者という方がいました。

ある時、神通力で大千世界の一切の境界を見渡すと、我が母が餓鬼道に墮ちて苦しんでいる様子がまざまざと見えました。目連尊者には助ける術がなく、み仏のもとに至り、泣く泣くその救助の法を求めますと、釈尊の静かに仰せられるには、

「目連よ、汝が母の罪はあまりに重くて、諸天善神も除くことができな。今はただ十方の僧の力を借りるほかはない。七月十五日は、比丘比丘尼たちが集まって懺悔をする日だ。この時、百味の飲食を供え、各地の僧たちに施しなさい。僧たちはその供物を受けて、一心に汝の母を、苦しみから逃れさせるように祈るだろう」と。

目連のお母さんはこのようにして、餓鬼道の苦を逃れることができ、これを因縁として盂蘭盆会の行事が始まったのです。奈良時代の高僧、行基菩薩に、

「山鳥のほろほろと啼く声きけば、父かと思ふ母かと思ふ」という歌がありますが、林間に囀る鳥、波間に遊ぶ魚も、私たち人間と、昔のいずれかの時において親子の因縁があった、と考えても不思議ではありません。

昨今、いのちの大切さということがよく言われますが、いのちは現に生きているものだけのものではない、まして人間のためだけのものではない、ということを考えてみる、これも盂蘭盆会の大切な意義なのです。

主な催しのご報告(前期)



①平成二十六年一月一日、越年迎春に際し除夜の鐘を撞きました。今年一年の感謝と明るい新年の吉兆を願い、毎年撞いております。

②一月二日、総代世話人様にお集まり頂き、新年祈禱会を行いました。祈禱後は総代世話人会が行われました。

③一月十三日、長野原町スポーツ少年団の坐禅会がありました。約六十名の小学生が集まり寒い本堂の中で約一時間坐禅を組みました。

④一月十八日、雲林寺梅花講による初観音様がありました。境内の観音堂で梅花講の皆様が観世音菩薩御和讃御詠歌をお唱え致しました。

(表紙写真)二月三日、毎年恒例の節分会が行われました。立春の前日に「鬼は外、福は内」と言いながら豆をまき、諸厄を払い福を招くための行事です。当山では三十分程の祈禱法要の後、毎年恒例の豆まき会を行います。この豆まき会は空くじなしのくじが付いており、皆様のご協力により毎年景品を用意しております。是非、来年もお出かけください。

⑤四月三日、大般若会が厳修されました。大般若会は六百巻ある大般若経有名な三蔵法師が中国語に訳したものを転読し、生きとし生けるもの(衆生)の幸福を祈ります。今年よりどなた様でも参列できるよう、御席を用意しておりますので、是非お越しください。

⑥七月十三日、長野原町の姉妹都市である、モンタナ州リビングストーンより学生さんにお越し頂きました。毎年、坐禅書道、お琴の体験をして頂いております。

節分会寄付者芳名

- 金壹萬圓 萩原昭朗
金壹萬圓 長谷川誠
金壹萬圓 山口次夫
金壹萬圓 野口敏幸
金壹萬圓 櫻井輝久
金壹萬圓 黒岩元
金壹萬圓 永井芳司
金壹萬圓 宮崎透
金壹萬圓 野口明成
金壹萬圓 長生病院
金壹萬圓 割田三男
金壹萬圓 割田祐美
金伍仟圓 黒岩保男
金伍仟圓 浅白親光
金伍仟圓 群北車両
金伍仟圓 吉澤建設
金三仟圓 宮崎保近
金三仟圓 宮崎昭
金三仟圓 宮前薬局
金三仟圓 京屋クリーニング店
金三仟圓 素都廊
金三仟圓 キューピット
金三仟圓 パーラーエンゼル
金三仟圓 酒井鉄工所
金貳仟五百圓 山口幸一
金貳仟圓 高橋部品商会
金貳仟圓 小諸電気
金貳仟圓 坂井工業
金壹仟圓 ひろみ美容室

沢山のご寄付を頂きありがとうございます

- 商品券一万円分 浅間酒造
商品券五千円分 スーパー大津
酒三〇〇mL二〇本 浅間酒造
酒粕三〇〇g五〇袋 浅間観光センター
生活用品福袋二〇点 かくだい小林商店
マスク三個 髪かざり
ホカロン五箱 グループホームぬくもりの家
アイスノン五箱 メゾンぬくもり
電子体温計一〇台 櫻井医院
スポーツ用品一〇個 スポーツハウス市川
スニーカーハウス市川
カシミアティッシュ一〇個 セブンイレブン長野原大津店
菓子一五個 轟 捷夫
竹カゴ三個 土田稲栄
美容パック三〇個 奈良屋
BOXティッシュ二十五個 野口商店
湯呑一〇個 長谷川浩一
ポリバケツ二〇個 松屋金物店
缶コーヒー三〇個 丸山商店
タオル一〇本 村上家
酒七二〇mL六本 山屋商店
菓子一〇個 菓子一〇個
ぐんまちゃんグッズ 草津ナウリゾートホテル
小物一式 長野原商業開発

曹洞宗群馬県檀信徒大会

曹洞宗群馬県檀信徒大会に参加して

総代 永井芳司

平成二十六年、六月十九日、ベイシア文化ホールでの大会に参加して、人権尊重、平和の確立、環境保全の三つの大きなテーマに基づき、命の大切さを実感できる大会でした。

また、大本山總持寺二祖峨山韶碩禪師六五〇回大遠忌予修法要も盛大に行われました。

梅花流の第五十七回群馬県奉詠大会も行われ、雲林寺梅花流講員の方々も舞台上がり素晴らしい発表会が行われました。

午後からは平子泰弘住職の講演と、落語家立川談四樓の落語があり昼食後の眠い時間にも関わらず賑やかな笑いが場内に沸き立っていました。

雲林寺からは四十一名以上の参加者があり、一ヶ寺の参加者としてはトップクラスでした。これも偏に護持会の皆様と雲林寺の意識が高いから多くの参加者があったと推察いたします。

これからも、雲林寺護持の為に微力ながら尽くして参りたいと思います。



曹洞宗群馬県檀信徒大会に参加して

篠原静枝

去る六月十九日、前橋ベイシア文化ホールに於いて、曹洞宗群馬県檀信徒大会が盛大に開催されました。第一教区から第十七教区まで、来賓、スタッフの方々を合わせて約千九百名ほどの大勢が一堂に会しての大会でした。雲林寺からは大型バスに一台四十一名、私は主人の代わりに参加させて頂きました。

今回の大会のテーマは「生命くいのち」開会行事で尊いお言葉を沢山頂きました。

次に大本山總持寺二祖 峨山韶碩禪師六五〇回大遠忌予修法要が行われ、導師は、大本山總持寺副貫首、石附周行老師で、旧子持村出身の方でした。「群馬に立派な方が居られる」と感心すると同時に、轟住職様の事を思い出しました。二年前、永平寺で二百余名の僧侶を従えて、導師を堂々とおつとめになられた姿に、感激したものでした。

休憩をはさんで、梅花流の奉詠がありました。雲林寺梅花講員の方々は、二番目に登壇、鈴鉦の音と美しい歌声が大ホールに響き渡りました。記念講演後アトラクションには落語があり盛り沢山の一日でした。

最後に青年会から、履かなくなった子供の靴を世界一の貧しい子供たちに贈る活動の話がありました。是非、皆様、履かなくなった靴がありましたら、お寺さんへ届けて下さい。NPO法人の方が現地へ持って行って届けて下さるとのことです。

今回は急に参加する事になりましたが、新しい世界が一つ開けた様な気がします。又機会がありましたら、色々な面で参加させて頂きたいと思えます。本当にありがとうございました。

雲林寺二十八世

大慈提三大和尚大祥忌

六月二十八日、先代住職の大祥三回忌法要を総代、親族、近隣寺院、約六〇名で営みました。甘楽町の福蔵寺住職に導師をして頂きました。法要後、薬石を草津温泉ホテル櫻井で行いました。



開山堂の棚を整備しました



当山には歴代住職が28名おります。御位牌の数も増え、なかなか綺麗に安置できなかったところ、豊産業様のご好意で新たに棚を作って頂きました。ありがとうございました。

世話人紹介



つねお
山崎 蚊男さん
長野 原 地区



ご自身の木工作品を前にする山崎さん

趣味：木工、籠バック作り等
一番うれしかった事：中国旅行へ行き、万里の長城、兵馬俑(へいばよう)に感動いたしました。

梅花流たより

今年も初観音様の御供養と共に梅花講の新年を迎えることができました。

梅花行事の最初として二月中旬に行われる伊香保一泊研修会が決まっております。ところが今年はその味曾有の大雪山のため中止となり何か出端をくじかれたような感じが致しました。

五月には島根県立浜山体育館「カミアリーナ」において平成二十六年度梅花流全国大会が開催されました。島根県での開催は東日本大震災の影響等により延期されたので地元の方々の心からの歓迎を受け心を熱く致しました。

群馬県からは百余名の出席者と共に岡山空港に降り立ちました。そこからバスにて山陰自動車道を通り、大社（おおよしろ）が六〇年ぶりの遷宮を行つた美しい出雲大社を参拝致しました。玉造温泉にて旅の疲れを癒し、翌日の奉詠大会を無事終えることができました。出場者の皆様ほんとうにお疲れ様でした。

余興として石見神楽という非常に貴重な伝統芸能を目的のあたりにし圧倒されたかのような感じすら受けました。「大蛇（おろち）」という演目は出雲神話に登場する須佐之男命の大蛇退治の物語で龍にもみえる巨大な蛇が須佐之男命と激しい戦いを繰り広げるその物語は石見神楽の中でも類を見ないほど壮大なスケールで演じられ見る私たちに感動を与えるものでした。

翌日は足立美術館にて長時間に渡り素晴らしい庭園や絵画を鑑賞し帰途に着きました。



雲林寺では毎月2回2時間程度ご詠歌（梅花流）の会があります。参加費は無料です。ご詠歌は、ご供養の気持ちを中心温まるメロディーにのせてお唱えします。初めての方でも是非お気軽にお越しください。お待ちしております。

和讃始めませんか

和讃会会長 篠原禮子

和讃をはじめて早くも十年以上になりました。テブをかけて母が練習しているのを聞いて私も退職したら一緒に話していた頃に新たに始める人達が居る事を知り、この機会に入会だけでも突然始める事となり今に至っております。

お寺さんの行事、年に一度の春の全国大会、秋の県大会等の参加にと先生のご指導の元、講員一同いつても楽しく練習させて頂いております。ちなみに今年の全国大会は五月の末に島根県の出雲でした。前日には出雲大社を参拝し玉造温泉宿泊、出雲大社では丁度婚約のニュースの出た、お喜びの日でした。大会では最後のアトラクションで勇壮な伝統芸能石見神楽を堪能し、帰りには足立美術館の見学と大会を含め素晴らしい三日間でした。この様な事もあ和讃の会ですが、皆様には法事、葬儀の時等に副住職様の和讃のお唱えを聞かれた事が有ると思いがすが、県内の他の寺の講では男性講員の方も見かけられますので老若男女問わずに出来る梅花流、御和讃、御詠歌、どれも皆素晴らしい歌ばかりですので一緒にお唱えをしてみませんか。一緒に練習して見ましょう。始めませんか、和讃を。

主な参加行事

一月十八日 初観音様

境内の観音堂の中で和讃をお唱えします。

二月中旬 伊香保一泊研修会

伊香保温泉にて丸二日間の梅花流の研修を行います。

四月三日 大般若会

「大般若会」の行事に参加し、お唱えします。

四月八日 釈尊降誕会

お釈迦様の誕生を祝い、和讃をお唱えします。

五月中旬 梅花流全国大会

一年に一回、全国の梅花流をお唱えするお仲間が集まる全国大会が開催されています。二日間で1万人を超える方々が集い地域ごとにお唱えの成果を発表します。

八月五日 天明三年の大噴火供養祭

境内の山門にてお唱えしています。

十一月頃 梅花流群馬県大会

群馬県内の梅花流のお仲間が集まり、各講でお唱えの成果を発表します。

編集後記

我々僧侶でも毎年このお盆の時期になると「命のいのち」について深く考えさせられるものです。去る六月十九日に曹洞宗群馬県檀信徒大会が開催されましたが、大会テーマがまさに「命のいのち」でありました。お釈迦様は、この世のすべてが私自身であると心得て、自他の区別なく慈しみなさい説きました。自分を含めた全てが仏さまですから、全てが尊厳ある存在です。この世に何一つ不要な存在はありません。全てがかかわりあって相互依存の調和の中で生かされています。

生命の進化論では「生命同根」です。お猿さんも庭の木も、命の起源はたった一つの細胞です。同根だから平等です。できれば自他を区別せず大自然すべてが同根なる自己であると思いたいものです。

副住職 轟 省吾

第6回雲林寺親睦ゴルフコンペのご案内

開催日:平成25年10月13日(月・祝)
場所:草津カントリークラブ
集合:7:15 スタート:8:05
募集人員:60名
※詳細は雲林寺にお問い合わせ下さい。

今年も雲林寺親睦ゴルフコンペが開催されます。プレー終了後は、雲林寺本堂で表彰式、景品授与等パーティーを開催致します。お申し込みは各地区の世話人、又は雲林寺へ直接お願い致します。尚、過去ご参加頂いた方へはお八ガキにて通知をさせていただきます。皆様多くの御参加をお待ちしております!!